

第 10 期定時株主総会 質疑応答要約

この質疑応答要約は、2021 年 3 月 20 日（土）開催の当社第 10 期定時株主総会において、出席者の皆様からいただいたご質問とその回答を要約したものです。

※株主総会で取り上げさせていただいた事前質問とその回答についても、記載しております。

【Q1】 今後、目指す事業の姿、成長に向けて注力する分野など戦略を教えてください。
(事前質問)

【A1】 (回答者：鬼頭)
(事前質問) 目指す姿は、証券、銀行、暗号資産や保険などの金融サービスを幅広く扱うインターネット総合金融グループです。保険は大きな資本が必要になるため、力がついてから対応を検討したいと考えています。FX を中心に CFD、暗号資産、タイの証券事業の成長を加速させることで、力を蓄え、新たな領域へ挑戦していきます。
また、国内だけでなく、アジア地域を中心とするグローバルな事業展開を目指しています。その点で、通期黒字化を達成したタイの証券事業は、アジア展開の第一歩として、期待以上に成長しています。 まだまだ道半ばですが、一步一步着実に前進しています。

【Q2】 CFD の成長性についてお伺いします。CFD 取引の継続率はどれぐらいか、長期的に CFD は収益全体のどの程度を占める規模にまで成長すると考えているのか教えてください。
(事前質問)

【A2】 (回答者：鬼頭)
(事前質問) 具体的な継続率は開示していませんが、他の金融商品とほぼ同じです。
CFD は、各国の指数や金、原油、アメリカや中国の株も、同じプラットフォームで取引できる、魅力のある商品です。GMO クリック証券では 2010 年から CFD の取り扱いをスタートしています。当初は、日本では馴染みのない商品ということで、なかなか受け入れられませんでした。魅力を伝える活動を継続した結果、2017 頃からお客様の伸びが大きくなり、今では収益の柱になっています。収益的には、現在、2 割弱の規模ですが、まだまだ成長余地はあると考えていますので、さらに伸ばしていきます。

【Q3】 東証では市場区分の変更が予定されていますが、現行の東証一部（プライム市場）への鞍替えの予定はないのでしょうか。
(事前質問)

【A3】 (回答者：鬼頭)
(事前質問) かねてより、様々な場で「東証一部に行きたい」と申し上げていますが、現時点で具体的に決定していることはありません。私個人としては、時価総額や利益水準だけでいえば、十分、東証一部でもおかしくないと思っています。ただ、様々な基準もありますので、マーケット環境や機関投資家様の対応など、多面的に検討を続け、適切なタイミングで審査をクリアし、行けたら良いと考えています。上場したからには、一部を目指したいと考えています。

【Q4】 GMO クリック証券で提供する貸株サービスの基準についてお伺いします。同社では、貸株の対象となる銘柄数は多いと思っていますが、GMO インターネットグループの対象銘柄は少ないようです。例えば、昨年、上場した GMO フィナンシャルゲートは、私が確認した際、2%の金利がついていましたが、GMO ペイメントゲートウェイは貸株の対象外となっています。その違いを教えてください。

【A4】 (回答者：鬼頭)

結論から申し上げますと、GMO クリック証券では、GMO インターネットグループの銘柄は全て貸株の対象外としています。

▽理由

お客様が株式を貸し出されると、その所有権は GMO クリック証券に移転します。GMO インターネットグループの銘柄を貸株の対象とした場合、GMO クリック証券は、自身の親会社やその兄弟会社の株式を保有する状況となり、会社法に抵触する状態となる虞等があることから、このような運用とさせていただきます。

なお、GMO フィナンシャルゲートについては、ご指摘のとおり、同銘柄の株価情報画面において貸株金利が表示されています。実際には同銘柄の貸し出しは行っていない設定となっていますが、お客様にとって分かりづらいため、今後は非表示とすることを検討いたします。

【Q5】 成長に向けて注力している CFD、暗号資産、タイ王国での事業の成長性についてお伺いします。今から 5 年、10 年という長期で考えた場合、各商品・事業は現在の FX 事業に対して、大体どれぐらいの収益規模になる可能性があるのか、その見通しがあれば教えてください。

【A5】 (回答者：鬼頭)

市況や規制動向など様々な要因の影響を受けるため、長期での各商品・事業の収益は見通しにくいというのが正直なところです。ただ、私個人の期待を込めた思いとしては、CFD については今後 5 年で現在の倍の規模にしたいと考えています。タイ王国の事業は、信用取引に注力するという一点突破の営業戦略が奏功し、順調に成長しています。具体的な数字をお示するのは難しいですが、大きく伸ばしていきたいと考えています。暗号資産事業については、会長の高島より回答させていただきます。

(回答者：高島)

暗号資産は、近いうちにレバレッジ規制が入る予定ですが、今後も業界の成長とともに規制が強化されることが予想されます。そのような事業環境の中、将来の成長規模を見通すことは難しく、具体的な数値を示すことは妥当ではないと考えています。ただ、成長性のある分野なので、国内取引高シェア No.1 を目指して頑張っています。このように、FX に加えて複数の分野に注力することで、持続的に会社を発展させていきたいと考えています。

【Q6】 本題の前に提案です。過去の株主総会で何回か提案してきた株価チャート（GMO クリック証券提供）のタブレット対応がようやく実現しました。一般消費者向けサービスを提供する会社にとって、ユーザーの声が一番重要です。定期的にユーザーの要望をヒアリングする機会を設

けて、サービス向上につなげてほしいと思います。

本日は、個別株のオプション取引導入を要望します。ヘッジ手段として活用できると思いますので、まずは代表的な銘柄を試験的に導入するなど、個人投資家に多様な投資機会を提供していただきたいと思います。

【A6】 (回答者：高島)

貴重なご意見ありがとうございます。ご意見・ご要望については、会員ページ内にお問い合わせフォームを設置しています。お寄せいただいた内容は全て確認し、意思決定の際の参考とさせていただきます。

個別株のオプション取引については、過去、様々な検討を行っていましたが、そのタイミングでFXが急拡大し、FXの成長を優先するという判断をしました。主力となる商品に注力し、力が蓄えられた段階で他の商品にも力を入れていくことで、全体の利便性向上を図っていくという考え方で対応しています。株式を強化しようというタイミングで、個別株オプション取引などの対応を検討していきます。

【Q7】 株式にはあまり注力されていないようですが、今後の展望を知りたく、招集通知 (p.22 対処すべき課題) に記載されている「利便性の高いサービスの提供」とは具体的にどのようなものを想定されているのか教えてください。

【A7】 (回答者：高島)

現在は他の主力商品に注力していますが、決して株式に力を入れていないわけではなく、多くの方々に、株式を身近に楽しんでいただけるような使いやすいサービスを提供していきたいと考えています。

具体的な取り組みとしては、多くの商品がスマートフォンで取引されるようになってきているという時代の流れを踏まえ、株式のスマートフォンアプリの全面的な見直しを行い、開発を進めています。また、貸株関連サービスを強化していきたいと考えていますが、株式の調達という会社規模に左右される課題もあるため、まずは、お客様にとって使いやすいスマートフォンアプリの提供を通じて取引を増やし、(株式の調達能力を高めて) お客様にとって有利な条件でのサービス提供につなげていきたいと考えています。

【Q8】 タイでの証券事業における地政学リスクを教えてください。

【A8】 (回答者：鬼頭)

様々なリサーチや現地調査を通じて、タイ王国における政治的混乱の経済への影響はそれほど大きくないと認識しています。ただし、今後もそれが継続するかどうかは不確実なので、状況を適切に把握し、必要となる対応をとっていきます。

以上